

- 東京都食品ロス削減パートナーシップ会議における議論を整理し、事業者、消費者、行政・NPO等が自主的かつ連携して食品ロス削減に取り組むべき方向性を明示するため、「食品ロス削減に向けた提言」として意見をとりまとめ、各主体の着実な行動を推進
- 東京都食品ロス削減パートナーシップ会議からの提言を受け、東京都は、各主体と連携して実施する対策、事業者や消費者向けの事例集等について記載した、食品ロスの削減の推進に関する法律に基づく「東京都食品ロス削減推進計画（＝食品ロス削減・東京方式）」を策定

1 提言～共通事項～

<提言1> 各主体の食品ロス削減に向けた連携

- 食品ロス削減をより効率的・効果的に進めていくため、食品ロス削減に関する理解を深化させるとともに、消費者や事業者、行政等を含めた各主体が連携を図り取り組んでいくことが必要

2 提言～事業者編～

<提言2> 製造・卸売・小売・外食で発生する食品ロスの削減

- 気象情報等を用いた需要予測システム等の利用により食品ロスの発生抑制に努めた上で、商品自体に問題はないが出荷ができない食品等について、販売者・消費者の理解のもと、インターネットでの販売やフードバンクへの食品の提供等により消費機会を確保し、廃棄から消費への転換を促進

<提言3> フードサプライチェーン全体での商慣習等の見直し

- 食品関連事業者が利害を越えて、これまでの商慣習等の見直しを図るとともに、食品ロス削減に関する事業者の取組状況や削減効果等を消費者にも広く発信していくことで食品ロス削減に向けた一層の取組を推進

3 提言～消費者編～

<提言4> 売れ残りや食べ残しを防ぐ賢い消費選択

- スマートフォン配信を活用した売り切り情報の入手等の消費行動が食品ロスの削減に繋がり、財布にも優しい賢い消費が選択されるとともに、新たな消費行動が事業者側の食品ロス対策にも影響を与える好循環を形成

<提言5> 家庭における食品ロスの予防

- 食品ロスの実態把握や理解の促進を図られ、買い物前のストックチェックの習慣化や賞味期限間近の商品の購入することが格好いい、楽しいといった機運が醸成される等、食品ロスの削減に資する消費スタイルへ転換

4 提言～行政・NPO等編～

<提言6> 事業者との連携及び取組支援

- 事業者と連携して食品ロスの発生状況や傾向等を把握し、その実態に応じた対策を講じるとともに、AI・ICT等を用いた新しい技術の活用に取り組む事業者等と連携し、先進的な取組の普及促進を図り、食品ロス削減を徹底

<提言7> 消費スタイルの転換に向けた啓発

- 食品ロスについて考えるきっかけとするイベントの開催、ウェブサイトによる情報発信等により、個人の消費スタイルを変えていくムーブメントが醸成されるとともに、食品ロス削減に関する正しい知識や理解が促進

<提言8> 自治体等の連携

- 食品ロスの削減を効率的・効果的に促進していくため、区市町村・大学等の教育機関・NPO等との連携を図り、消費スタイルの転換や成長段階に応じた子供たちへの学習機会の付与、防災備蓄食品の有効利用等を促進